

都の西北

2026年(令和８年)10月１日

早稲田大学校友会　昭島稲門会会報　第16号

会長職１２年を振り返って　　梅田正宏

私は本年82歳となりました。ここ数年身体の不調があちこちに出てきて、会長職を全うするには厳しいことを自覚するようになりました。任期が本年11月15日の定期総会にて満了となりますので、役員会にて辞任を申し出て承認して戴きました。会長職を４期12年務めたことになります。

1985年(昭和60年)設立時の発起人代表であった白川宗雪初代会長が住職を務めていた、広福寺の代々の檀家であったご縁で副会長に指名され、その30年後(2014年)には岩﨑会長の後任を薦められることになりました。何も実績のない副会長でしたが断り切れず受けることにしました。

就任前に先ずやらなければならない難題が有りました。会長と同時に幹事長も辞任を申し出たのです。後任の候補に浮かんだのは入会２年目ですが、多彩な趣味と行動力抜群な山中さんでした。当時の杉崎幹事長と共に山中さんを説得したことを懐かしく思い出します。1968年(昭和43年)理工卒の同期と共に12年間コンビを組める幸運に感謝しました。以下に12年間に実施した主な事業について簡単にふれます。

ホームページの新設

昭島市在住の校友が地元の稲門会に関心があってもネットで検索出来ない状態でした。稲門会の存在と活動内容を誰でも知ることが出来る手段としてホームページの新設を行いました。佐藤副会長の尽力もあり本年リニューアルされて更に見映えが良くなりました。

会報（「都の西北」）の発行

ホームページの開設と同時期に会報を創刊しました。清水幹事を初代編集長として2015年(平成27年)10月に第１号が発行され、本号で第16号となります。



現役学生との交流会

校友会組織強化補助金は２種類あり、基礎的なものは定期総会を実施すれば交付されますが、金額の大きい「N」と言われる補助金は交付条件が厳しく、現役又は若手校友との交流を企画・実施することも必須です。山中幹事長が苦労して実現しました。

新役員の皆さんに期待すること

会員の高齢化が進み、お亡くなりになったり病気で退会される方が年々増えており、新たに入会される方を上回っています。昭島稲門会の各種行事や趣味の会に昭島市在住校友が参加したくなるような仕組みを考えて戴けたらと思っています。また、気になりながらも手つかずで終わってしまった、昭島市への新たな地域貢献も出来ればお願いします。

最後になりますが、設立時の理念である「政治団体や特定組織に関係なく、早稲田に学んだ校友の格式ばらない親しい交流の場」を今後もぜひ大切にして下さい。

＜定期総会のご案内＞

本年度42回定期総会は以下により開催する予定です。会員の皆さんの参加をお願い致します。

1. 日　時 ： 2026年11月15日（日）　14：00～17：00
2. 場　所 ： 「イーストテラス・サブスリー」３階会議室301　中神駅、東中神駅とも南口徒歩７分
   旧市民交流センター跡地に昨年12月にオープンした機能的な建物です。もちろんエレベーター付き。

サークル活動の紹介

いつ？ どこで？ 参加するには？ 等の基本情報です。

○カラオケ倶楽部

この1年も毎月最終日曜日の午前中に昭島駅北口の「まねき猫」で開催。懐メロや定番ソング、海外のスタンダードナンバーなど多彩な歌が参加者から披露されます。時には最新のナンバーも。カラオケはウエルビーイングの有効な手段だそうです。

楽しみながら健康促進もはかれる当倶楽部に皆様も是非参加を。（小宮山記）

○ハイキング同好会

春と秋の年２回近郊のハイキングを開催しております。春はお花の咲くコース、秋は紅葉を愛でながらの軽いハイキングです。コースによりお弁当を持参したり、また地元のお店で会食を楽しんだりしています（秋山記）

○ゴルフ同好会

毎年春秋の２回、ゴルフコンペを開催しています。場所は現在武蔵野ゴルフクラブ、昭島から車で２０～３０分の丘陵コースです。多少アップダウンはありますが我々年配者には足腰の鍛錬に最適です。市内から参加者同士車で乗り合わせて行きますので足の心配もいりません。

なお、昨年から始まった西部ブロックのコンペにも参加しています。今年は10月末ごろ新武蔵丘ゴルフコースで行われます。参加ご希望の方はご連絡ください。（山中記）

○シネマの会

開催は、市内のムービックス昭島で不定期、監督、出演者、ジャンルの特定なし、開催案内はメールで送ります。（平田記）

この度、4名の方が入会されました。心から歓迎申し上げます。ご提出いただいた原稿によりご紹介いたします。

入会しました

塩原 由紀子（しおばら ゆきこ）さん 1964年生

1987年第一文学部卒



私は大学時代は中野に住み、卒業後は故郷の新潟に帰りましたが、平成10年にまた東京に戻り、昭島への定住を決めました。

大学卒業後は早稲田との関わりの少ない生活を送っていましたが、息子が早稲田大学高等学院に入学して運動部に所属したことで、親の私も再びWASEDAの名の下で活動を始めることとなりました。高校・大学でまで親がこんなに密接に部活に関わるのかと当初は驚いたものの、やってみるとなかなか楽しく、早稲田の「今」を感じることができる貴重な時間でした。

そんな年月が終わりを迎えた時、早稲田との繋がりがまた薄くなってしまうのが寂しくなり、今度は年次稲門会のイベントに参加させていただくことにしました。同期の仲間との懇親会、ボウリング、カラオケなど、年3回ほど早稲田や高田馬場での遊びを楽しんでいます。

昭島稲門会へ参加申し込みをしましたのは、同期には東京多摩地区在住者が少ないことと、同期以外の方々のお話も聞いてみたいと思ったことが動機です。今後の懇親会等でまた皆様にお会いできることを楽しみにしています。


ラグビー大学選手権決勝応援(2026 国立競技場)

大川 一毅（おおかわ かずき）さん　1960 年生

第一文学部 1979 年入学　同学部哲学科教育学専修 1984 年卒業
大学院文学研究科教育学専攻修士課程 1984 年入学
大学院文学研究科教育学専攻博士課程 1986 年入学
人間科学部人間健康科学科　助手（1994 年 4 月～1997 年 3 月）
・・・・

早稲田、盛岡、そして昭島　（「ワセダ」が土台の人生です）

2025 年 3 月末に岩手大学を定年退職し、盛岡から昭島へ転居しました。昭島物件を紹介してくれたのはワセダの後輩です。元来は田無の生まれで、中学以降は所沢、結婚後は練馬や田無に住みました。2004 年に秋田大学へ着任、2007 年には岩手大学へ移り、震災時もふくめ東北で 20 年暮らしました。退任後、岩手大学名誉教授の称号を賜っています。

専門分野は高等教育や大学史で、「愛校心」についても研究しました（詳細は「大川一毅 岩手大学」で検索ください）。赴任後、校歌や校章の無い国立大学が多いことに驚き（ロゴマークはあります）、また教員や学生、卒業生に母校意識が希薄なことを実感したのも契機となりました。もちろんその着眼原点は自身の早稲田生活からでしょう。

早稲田を最初に受験したのが 1978 年、国立大学一期・二期入試の最終年。そのあおりで早稲田入試も激化して、受けた早稲田２学部はあっさり不合格。国立大受験と無関係の私にはいい迷惑でした。一浪後の翌年は共通一次試験元年。早稲田もさらなる激戦でしたが、倍率 20 倍だった第一志望の一文に何とか合格しました（40 倍の第二志望学部は不合格）。以降、順調に学部「5 年」、修士 3 年、博士課程 6 年を過ごし、さらに所沢の人間科学部で TA、助手、非常勤講師と約 15 年。ワセダの学生証・職員証を有した通算は約 30 年になります。昭島稲門会の 40 代会員様の中には、当時の私の授業（教職科目）を履修した方がいるかもしれません。

学生時代はソフトボール同好会に所属していました。同会は現在、インカレ優勝を重ねる体育局ソフトボール部へと昇格・発展し、優秀な後輩たちが文武両道で励んでいます。手もとには、昭島の「くじら公園」で当時 1 年生の私がベンチでスコアをつけるモノクロ写真があります。

かつて校友会主催の「早稲田川柳」で佳作に入選し、刊行書には拙句 4 件が掲載されました。入選作は「聞いてみりゃ 塾歌もいいなと 一塁側で」。このほか「謝恩会 留年するのに 俺幹事」、「連れ添った　妻も気がつきゃ　臙脂（えんじ）買う」もございます。失礼しました。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



清水 伸夫（しみず のぶお）さん　1960 年生

1983 年理工学部卒

仕事を退職し、ゆっくりとした生活を始めようとしています。

趣味はインターネット将棋程度ですが、これからは地域での活動にも参加したいと思い、昭島稲門会に入会いたしました。

皆さまとお会いできることを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。

加藤 達志（かとう たつし）さん　1961 年生

1984 年商学部卒

ご都合により、お名前、生年、卒・学部のみの掲載とさせていただきました。

今年の稲門祭は「稲門は、縁だ。力だ。」をテーマに！



校友会最大の祭典である稲門祭。今年は「稲門は、縁だ。力だ。」をテーマに、10月18日(日)に開催されます。コロナも終息し、既にアルコールも解禁となっており、今年も「サロンド三多摩」が出店します。秋の一日を懐かしいキャンパスで友人たちとともに過ごしてみてはいかがですか。

稲門祭に合わせて記念品が販売され、各稲門会にも毎年協力の依頼があります。依頼額をクリアすると組織強化のための補助金が交付されますが、当会の貴重な活動資金になっています。因みに今年も12万6千円の依頼に対し13万円を超える購入でクリアできました。会員の皆様にお礼を申し上げます。

記念品の購入に伴う福引抽選の結果は当日の稲門祭ウェブサイトに掲載されます。ご確認の上、当選者は当該サイトから申請してください。過去には当会からも高額の賞品が当選しています。



漫画「WOBさん」を終了



長く稲門会報を彩ってくださった故福田武さんの漫画「WOBさん」。福田さんが昨年2月に亡くなられた後も遺作を掲載してきましたが、残念ながら今号が最後の掲載となります。福田さんは漫画家でエッセイストの故東海林さだお氏らとともに現在の漫研の礎を築いた方です。ウィットに富み、優しい視点での作品は皆さんから愛され、親しまれました。改めてご冥福をお祈りいたします。

昭島ちょこっとメモ

地震、大雨、猛暑、・・と災害のニュースが絶えない日本列島ですが、8月23日(日)午前2時に発生した茨城県南部を震源とする地震では、皆さんさぞかしびっくりなさったことでしょう。都内でも震度5弱や震度4、多摩地区でも震度4、震度3という地域が殆どでした。飛び起きて慌ててテレビを点けたが昭島の震度がテロップに流れない。どうなっているんだ、と思われたかも知れません。気象庁と通信回線でつながれている昭島の計測震度計は市役所にありますが、昭島は震度2だったということで、このためではないかと思われます。

昭島の地盤は比較的強固と言われており、これまでの地震でも他の地域に比べて揺れは少ない傾向にあります。昭島の地下にはまた、美味しい地下水も豊富に存在します。多摩川の河岸段丘の南面に形成された昭島は、自然に恵まれた安全で住みやすいところです。でも皆さん、防災の備えだけは万全に！

入会などのお問い合わせは
会　長：梅田　正宏　(☎) 080-8157-0492　umeda-masahiro@luck.ocn.ne.jp
幹事長：山中　皓博　(☎) 090-9953-7404　yamanaka-akihiro@nifty.com